

成果指標				
成果指標	活動指標事業の出席者数。			
指標設定の考え方	大会参加者の出席者数。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	目標27年度
目 標	45	45	0	0
実 績	43	37	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	参加者増加について、更なる勧誘をする。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	この事業は社会教育委員の報酬を含む活動費と、婦人会及び愛護班の大会参加経費のみであり、事業費も少ないことから、事業を分ける必要を感じられない。 内容的には必要な事業費であるので、他の事業と合算した事業評価とすることも検討するべきである。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題